



森林ボランティア 「オホーツクの会」だより No. 21

森林と湯の滝で心と身体をリフレッシュ
秋の森林散策 in オンネトー 湯の滝散策



10月6日(土) 会員32名、一般19名の計41名が参加しオンネトーから湯の滝までの遊歩道を散策しました。

足元にはコケやシダなどの地表植物とアカエゾマツ等の巨木の森林など壮大な自然を体感しながら森林浴を楽しみました。

遊歩道を約1.4km進むと突如現れた湯の滝に歓声が上がり、世界で唯一ここでしか見ることができないといわれる地表での酸化マンガン生成を観察し、身も心も癒される散策となりました。



森林散策会に参加して

高橋 一三

この度、「森林散策会」に初めて参加させて頂きました。目的地は「オンネトー湯の滝」で初めて行くところです。車中雌阿寒岳と阿寒富士を望む原始林を行くと神秘の湖エメラルドグリーン「オンネトー」。この湖はアイヌ語で「大きい沼」と云われているようだ。



バスはオンネトー湯の滝入り口に駐車、班に分かれ目的地まで1.4kmの山道を歩いて「森林散策」。森林浴かハイキングか…気分次第で原始林の中の雰囲気味わいながらガイドさんの説明を聞く。ガイドさん曰く「色々な木、草、花等の名前を話しますが全部覚えようとしても難しい。何か一つ覚えて



ください。」と冗談交じりの話があったが本当に覚えていないものだ。

私が今唯一覚えているのが、カバの木は全部白樺と思っていたが、オンネトーには「シラカンバ、ダケカンバ、ウダイカンバ」の3種類が生えていると話があり、本当に名前と云うのは覚えられないものだ。情けない事である。

情けない事である。

一時間程度山道を進むと突然ポツカリと広がった空間が現れ、ここが「オンネトー湯の滝」。昼飯後、滝の上に登りましたら何と、岩間から温泉が湧き出て滝になって流れています。今まで見た事がありません（温度は30℃位か？）。

「オンネトー湯の滝」は、地上での大規模なマンガン鉱床が成長を続ける



世界唯一の場所として、国の天然記念物（平成12年9月）として指定されている。また青い色の滝壺には、外来種「テラピア」が泳いでいた。景勝地にも外来種問題が顕著に現れていた様な気がした。

申し遅れましたがガイドさんはじめ、スタッフの皆さんの親切丁寧な対応に感謝し来年は、私も森林ボランティア「オホーツクの会」に入会し、散策会等に参加したいと思っています。

阿寒国立公園オンネトーを訪れて

藤谷 道子



昨年野中温泉の東？から入ってすぐ、アカエゾマツがどこまでも真っ直ぐに天に向かって伸び群生し、そのマツにいろいろな種類のシダ類(苔むして)森の空気もおいしく、メルヘンの世界、妖精が今にも出てきそうな夢の世界、森に入って鳥肌が立ったのは初めてです。今もこの風景は脳裏に焼きついています。是非今年も同じオンネトーへと参加させていただきました。オンネトーの違う所を見ることができました。湯の滝、マンガン鉱床とやら、お湯の温度が23から26度くらいのお湯の滝、外来種の魚が泳いでいる癒しの空間でした。「森を歩く」ことは心身共にリフレッシュでき、ご案内してくださる役員の方々には感謝しております。今後も皆さんと共に森林散策できることを楽しみにしています。よろしくお願いたします。

オンネトー湯の滝参加者からのアンケート結果

(集約数43名/43名中)

森林散策はいかがでしたか？

(楽しかった・とても楽しかった…43名/43名中)

ガイドによる自然や樹木の説明など案内がよかった

自然の循環に感激

湯の滝、コケの美しさ、キノコの不思議

森林浴と自然

散策が楽しく、距離が短く感じた

みんなと歩くことができ、仲間もできた

出発前にもっと全体の説明がほしかった…etc.

自然についての印象？

火山活動後の植物などの遷移に途方もない地球の年輪を感じた

倒木の上に新しい生命が誕生していること。自然が蘇る様子が印象的

自然が人間に及ぼす影響の偉大さ

自然があまり荒らされていない。改めて自然の大事さを感じた

空気がとても良く気持ち良かった

湯の滝が素晴らしい

コケ、キノコがあり子供たちは大喜び

アカエゾマツの巨木…etc.

もっと知りたかった・聞きたかった

キノコ、樹木、草花の名前や特徴、外来魚のこと
食べられる木の実やキノコなどがあればもっと良かった
湯の滝は専門家の話が聞きたかった
マンガンについてのプリントが必要…etc.

今後このようなイベントがあれば参加しますか？

(参加したい・是非参加したい… 43名/43名中)

希望先

サロマ湖、知床、チミケップ、仁頃山、屈斜路湖、錦仙峡（滝上）…etc.

※アンケートありがとうございました。今後の活動への参考にさせていただきます。

おつかれさまでした！

オホーツクの森 植樹地草刈とボランティア植樹

昨年は、春に実施されていた植樹祭が、
本年度は10月12日（金）秋に開催されました。
オホーツクの会での「植樹地草刈り」は9月9日（日）に予定されてい
ましたが、雨のため延期されてしまいました。

しかし、1週間後の9月15日（土）にようやく行う事ができ
会員12名で、植樹地が急な傾斜にもかかわらず、
よく砥がれた草刈釜と、会員から自前のエンジン刈払い機が4機も登場して、
開会式会場も含め植樹地の草刈り全般を一機に完了！

今年は、秋の気温が遅れて夏気配?の中、草刈作業に一汗かきました。
皆さん、ご苦労様でした。

草刈り1ヵ月後の「ボランティア植樹」は、当日雨天が心配されていま
したが、全く心配の無い天候に恵まれ、端野小、常呂小、の他一般参加者、他
団体含め全部で18団体、参加総数160名で無事実施されました。

現地では、一人6本のトドマツを手に植樹を行い全苗数600本を予定通り
植栽完了致しました。

オホーツクの会から13名の参加 草刈り、植樹祭本当にお疲れ様でした。
また、来年も楽しみながら活動していきましょう。

Kaku

植樹地草刈風景



ボランティア植樹風景



この度、第9回「オホーツクの森」ボランティア植樹について、オホーツクの会の皆様のご尽力により、事前の草刈では雨天による延期にもかかわらず多数の会員の皆様が参加され、きれいに草刈を行っていただくことで、無事ボランティア植樹が成功裏に終わりました。本当にありがとうございます。

当ふれあいセンターはオホーツクの会に頼ることが大となってきており、今後も貴会のご支援が大切でありますので、今後ともどうかよろしく願いいたします。

常呂川森林環境保全ふれあいセンター所長

森林ボランティアパネル展示会

昨年開催し好評であったパネル展が、今年度も10月2日（火）～14日（日）まで北見市緑のセンターで開かれ、846名の来場者が訪れました。

森林が身近になるパネル展をテーマに、北海道森林管理局北見事務所、知床森林センターと常呂川森林環境保全ふれあいセンター、及びオホーツクの会が参加し、会の活動写真パネルと吉田事務局長製作の木のクラフト展示を行い、週末には「竹トンボ教室（長谷川幹事）」や「バードコール（角副会長）・モックン（吉田事務局長）作り」も催され、家族連れに大いに楽しんでいただき盛会に終わることができました。

来年はより楽しんでいただけるように工夫をしていきたいと思えます。



自然再生モデル事業企画運営協議会へ参加

11月7日（水）、多様性のある森林再生を推進することを目的とした協議会がオホーツクの森で開催され、オホーツクの会より委員代理として角副会長が出席しました。

当日は14名が参加し、最初に、森の家にて「オホーツクの森」の中での常呂川森林環境保全ふれあいセンターが行っている自然再生モデル事業の取組報告があり、その後、モデル事業地の現地視察・検討を行いました。意見交換では、オホーツクの会を代表して、自然再生モデル事業へのボランティア団体としての協力状況について話してきました。



ひとくち知識

身近なキノコと樹木の関係

○生きている組織に寄生

生きている樹木の樹皮が傷つけられ木材部が露出すると、菌が形成層（根や根株の生きている部分）を侵し、寄生枯死させます…ナラタケ（別名ボリボリ）

○死んだ組織に寄生

木材部（生理的に死んだ組織）に寄生し腐らせます…サルノコシカケ類やタモギダケ（別名タモキノコ）、シイタケ、ナメコなど。

○その他の植物と共生

植物は菌に対し生活の場所と糖分を提供し、菌は植物に対し水や無機塩素類を提供します…カラマツとハナイグチ（別名ラクヨウキノコ）



「北海道のキノコ」より



○ 国有林におけるNPO団体等活動発表会へ出席

開催日：12月8日（土）

場 所：札幌市教育文化会館

出席者：吉田事務局長

内 容：道内の各ふれあいセンターと森林ボランティア団体が集まり、
発表会や意見交換会等

発表内容：「オホーツクの会が発足した経緯
から現在の活動や今後の方針な
どについて発表します。



冬のオホーツクみどり勉強会を実施します

今年7月7日、「古の森」において「オホーツクみどり検定」が実施され、
当会員から最高位のクラウンに2名、マスターに2名、1級に1名が合格さ
れました。おめでとうございます。

当会ではこの検定に先立ち6月に勉強会を実施したところですが
参加者の熱心な努力と仲間と楽しみながらの勉強会がこのような素晴らしい
結果に結びついたものと思われます。

普段、改まって勉強する機会がなかったこともあり大変好評な勉強会とな
りました。参加者から“もっと知りたい”との意見があり冬のオホーツクみ
どり勉強会（仮称）を実施することになりました。

勉強会を通じてオホーツクの素晴らしさ、みどりの素晴らしさを再発見す
るとともに今後の森林づくりに活用して頂きたいと思ひます。

日程は2月末頃を予定しています（詳細は後日）。

お問い合わせ

北海道森林管理局
常呂川森林環境保全ふれあいセンター内
森林ボランティア「オホーツクの会」事務局

〒090-0035 北海道北見市北斗町3丁目11-3

TEL 0157-23-2960

050-3160-6321

FAX 0157-23-2472

平日8:30~12:00 13:00~17:15